

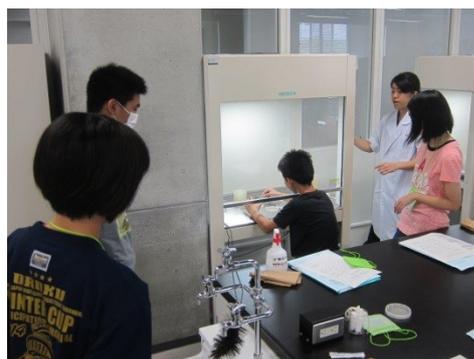
サマースクールを開催しました！

8月11日（木・祝）、今年度の生物資源工学科の「サマースクール」には35名の中学生が本島、久米島、石垣島から参加してくれました。生物資源工学科の魅力や授業の特長などを知った後、6台のクリーンベンチ（無菌環境を作り出すことができる装置）を駆使してひとり一人、「きのこ（ウスヒラタケ）」の菌糸を寒天培地に塗りました。さらに菌糸から子実体（食する部分）を発生させるために、セルロース（きのこの栄養）をたっぷり含む菌床に菌糸を植えました。

この実験を通して、実験は様々なステップで成り立っていること、それぞれのステップには特定の目的があること、それを考えながら実験することが沖縄高専の授業の特長であること、などを学びました。



玉城准教授による授業の様子



クリーンベンチで菌糸を操作